



試験委託でも

SDGs

エスペックが提供する受託試験サービスは

再生可能エネルギー100% で

カーボンニュートラルの実現へ

国内初

受託試験で使用するすべての電力に
再生可能エネルギーを使用



試験報告書に
グリーンパワーマークを表示
グリーンパワーマークは、ISOで定められた自己宣言型(タイプII)の環境ラベル(ISO/JIS Q 14021)に相当します。

年間CO₂排出量
約4,187tを削減※

CDP GHGプロトコル Scope3
サプライチェーン排出量の削減

※CO₂排出量は2019年度の電力量10,236,185kWhに対し、環境省の電気事業者別排出係数に基づき算出しています。

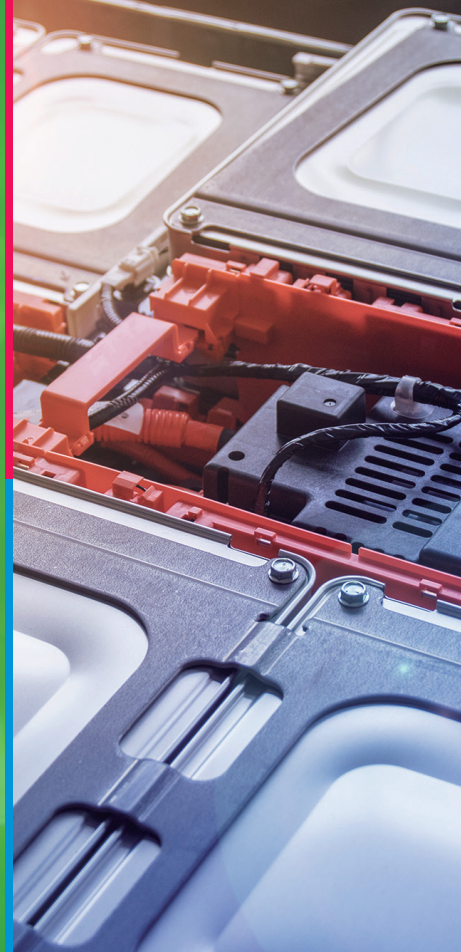


カーボンニュートラルに向けた取り組み

エスペックの受託試験所で行う受託試験の電力、事務所で使う電力を100%再生可能エネルギーで運営しています。太陽光・風力・地熱・水力・バイオマスといった再生可能エネルギーは発電時にCO₂を排出しません。

温室効果ガス削減が急がれる中、エスペックでは国内で初めてとなる再生可能エネルギー100%使用による刈谷試験所に続き、すべての試験所で「実質CO₂排出ゼロ」を実現させました。

お客様のグリーン調達やCO₂削減活動に貢献し、持続可能な社会の構築を目指します。



お客様のCDP GHGプロトコル Scope3に貢献

近年、世界ではカーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)をはじめ、企業が間接的に排出するサプライチェーンでのGHG排出量としてScope3(製造、輸送、出張、通勤等)を管理し、対外的に開示する動きが強まっています。

サプライチェーン排出量とは、自社内における直接的な排出だけでなく、自社事業に伴う間接的な排出も対象とし、事業活動に関係するあらゆる排出を合計した温室効果ガス排出量を指します。

環境省、「排出量算定について」
https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/estimate.html (参照2023/10/20)

試験所のご案内

エスペックの試験所は、高い技術力と管理・運営能力により公的機関の定めた各種制度の認定を受けた機関です。5か所すべての試験所において、受託試験設備を含むすべての電力を再生可能エネルギーで運営しています。また、日本適合性認定協会(JAB)からISO/IEC 17025の基準に適合した試験所であることを認定されてます。

バッテリー安全認証センター・宇都宮試験所

東日本最大級の総合試験所

〒321-3231 栃木県宇都宮市清原工業団地23-1
(宇都宮テクノコンプレックス内)

豊田試験所

エスペック最大の試験所

〒471-0844 愛知県豊田市聖心町3-44-1

神戸試験所

西日本の総合試験所

〒651-1514 兵庫県神戸市北区鹿の子台南町5-2-5
(神戸R&Dセンター内)

刈谷試験所

カーエレクトロニクスの開発に寄与

〒448-0034 愛知県刈谷市神明町1-3

エスペック株式会社 <https://www.espec.co.jp/>

本社 530-8550 大阪市北区天神橋 3-5-6

受託試験に関するお問い合わせは

バッテリー安全認証センター/宇都宮試験所

Tel:028-667-8735 Fax:028-667-8733

神奈川オフィス Tel:044-740-8456 Fax:044-797-0073

豊田試験所 Tel:0565-25-3364 Fax:0565-25-3365

刈谷試験所 Tel:0566-62-8380 Fax:0566-62-8385

神戸試験所 Tel:078-951-0961 Fax:078-951-0964

